

4日目 ● 22日(火) \*会場は新内ホールのみです。

● 13:00~16:00 ドキュメンタリー&トーク

韓国・済州島・カンジョン村と沖縄・辺野古を結んで  
映画 ● 「速報 辺野古のたたかい」 最新版上映とトーク

米海兵隊の新基地建設を止めるため、今日も海と陸とで体をはった抵抗が続く沖縄・辺野古。その日々を記録する「速報 辺野古のたたかい」シリーズ。製作スタッフは、藤本幸久、影山あさ子ら。2005年「Marines Go Home」、2012年「ラブ沖縄」、2015年「圧殺の海」の監督でもある。映画に登場する人びとが沖縄から新得にやってくる。



▲鳥袋文子おばあ ▲池原寿里  
後ろは撮影スタッフ、東原良介

鳥袋文子おばあ、池原澄江、池原寿里、佐々木弘文の4人。沖縄戦から辺野古の現在まで、縦横に語る。



▲池原澄江 ▲佐々木弘文

パク・ジンファン監督作品

映画 ● 「それぞれの『平和』—カンジョン海軍基地建設に反対する人々」 上映とトーク

総合地球環境学研究所の研究プロジェクト「軍事環境問題の研究」の支援により制作された韓国における平和運動についての映像人類学的作品。



カンジョン海軍基地建設に反対する人々が描く「それぞれの平和」をカメラに収めた(2014年/韓国/40分)。上映後、パク・ジンファン監督とオ・トゥヒ監督らによる現地レポート。

朴眞煥(パク・ジンファン)監督

● 16:30~17:30 講演

「福島レポート」 ● 佐川ようこ

東京電力福島原発事故から、4年半。除染や道路建設など「復興」の名のもとに大きなお金が動いています。被害者のための「復興」ではなく、加害者のための「復興」に見える。撮り続けてきた写真を使って、福島の今を伝える。



▲佐川ようこ(福島在住) ▲2014年11月飯館村小宮

● 18:00~19:00 ライブ

カテリーナによる歌とバンドゥーラ



1986年、チェルノブイリ原発事故発生1カ月前、事故現場からわずか3キロのブリヤチという町で生まれる。幼少期より故郷の民族楽器であるバンドゥーラに触れ、演奏法・歌唱法の手ほどきを受ける。16歳からウクライナ・レフツキー音楽専門学校で声楽、バンドゥーラの演奏技術、音楽理論を本格的に学ぶ。2008年、音楽活動の拠点を東京に移す。

バンドゥーラ▶バンドゥーラはウクライナの民族楽器で、フレットはギター、胴体はハーブのよう。カテリーナのバンドゥーラは、60本以上の金属弦を張り、重さも8キロあります。

さよならパーティー ● 20:00~ (参加費●¥1,000)

☆今年も十勝・新得の美味しいものがいっぱい立食パーティー、お楽しみに!

プログラム早見表

9/18(金) ● 19:00~前夜祭 ● 宇井ひろしミニライブ+パーティー(1,000円)

9/19(土) ★ 1日目

● 10:00~ドキュメンタリー映画「風のたより」 ● 田代陽子監督トーク

● 19:00~声体文藝館「飢餓海峡」 ● 趙博/音楽:春間げん

公民館 ● 13:00~劇映画「馬喰一代」上映 ● 新得町民トーク

大ホール ● 15:30~劇映画「ゴジラ」上映 ● 新得町民トーク

9/20(日) ★ 2日目

● 10:00~小池照男監督選「ヴォワイアンシネマテーク」11作品

● 13:00~劇映画「わたしたちの夏」 ● 福岡健二監督トーク

● 15:30~講演「映画・戦争・ゾンビ」 ● 上村崇

● 19:00~ドキュメンタリー「選挙フェス」 ● 杉岡太樹監督トーク

9/21(月) ★ 3日目

● 9:30~劇映画「ナンバーテンブルース」 ● 長田紀生監督トーク

● 12:30~落語「時事落語」唐茄子屋 ● 噺家・橋家扇三

● 14:00~ドキュメンタリー「Beauty of Tradition」 ● 川端潤監督トーク

● 16:30~ドキュメンタリー「1989 swany ~遠征闘争の記録」

● オ・トゥヒ監督+ユ・ヨンジャトーク

● 20:00~ライブ おおたか静流とアジア・ウィングス

9/22(火) ★ 4日目

● 10:00~劇団・石(音/トル)ひとり芝居「在日バイタルチェック」

● 作・演出・出演 きむきかん

● 13:00~韓国・済州島・カンジョン村と沖縄・辺野古を結んで

①映画「速報・辺野古のたたかい」上映 ● トーク 沖縄・辺野古から

②映画「それぞれの『平和』—カンジョン海軍基地建設に反対する人々」上映

● トーク・カンジョン村から

● 16:30~「福島レポート」 ● 佐川ようこ(福島県在住)

● 18:00~ライブ カテリーナ ● 歌とバンドゥーラ

● 20:00~さよならパーティー(1,000円)

●...ドキュメンタリー ●...ライブ ●...劇映画・他 ●...講演 ●...パーティー

[アクセス]

- 帯広空港より~まずJR帯広駅まで連絡バスで40分帯広駅からJRで約1時間
- 千歳空港より~JR特急南千歳乗換約2時間
- 千歳空港より~道東道経由・十勝清水ICから一般道、約2時間
- 札幌から~JR特急で約2時間、車で約3時間半(高速経由で約2時間半)
- 旭川から~JR利用で約3時間、車で約2時間半(狩勝峠経由)



★JR新得駅からは約10km、歩くとも2時間程かかります。JRで新得に到着された方は0156-64-3161(会場直通)まで電話ください。タイミングが良ければ、他の誰かの車に便乗できるかも知れません!

第20回 SHINTOKU 空想の森映画祭

第20回記念大映画祭

主催 ● SHINTOKU 空想の森映画祭実行委員会  
共催 ● 北海道新聞帯広支社  
後援 ● 新得町・新得町教育委員会  
助成 ● 新得町夢基金

〈会期〉 2015年

9月19日(土) → 22日(火)

〈会場〉 新内ホール(旧新内小学校)  
北海道上川郡新得町字新内

〈第二会場〉 新得町公民館大ホール(19日のみ)  
新得町4条南4丁目

〈入場料〉

● 4日間通し券 ■ 4,000円  
(パーティー以外のすべてのプログラムに入場出来ます。)

● 1日券 ■ 2,000円  
(公民館大ホールにも入場出来ます。 \*パーティーは別料金)

● 公民館大ホールのみ ■ 500円

● 前夜祭/さよならパーティー ■ 1,000円

\*4日間通し券、公民館大ホール券のみ下記の場所で販売します。  
電話での予約も受付ます。

\*1日券は前売りをしません、当日会場受付でお求めください。

\*パーティーを除く全てのプログラム、高校生以下無料。

〈チケット取扱場所〉

帯広 ● 藤丸チケットぴあ(帯広市西2南8 / 0155-24-2101)

札幌 ● 大丸プレイガイド

(中央区南1西3・大丸藤井セントラル1F / 011-221-3900)

旭川 ● こども富貴堂(7条通8丁目・買物公園 / 0166-25-3169)

新得町 ● 新得町教育委員会(新得町・公民館内 / 0156-64-0532)

● 相馬商店(JR新得駅前 / 0156-64-5055)

● BeWild(新得町北新得 / 0156-64-5200)

お問い合わせ ☎ 090-8278-6839 (映画祭事務局/藤本)

チケット予約 \*または ☎ 090-6216-1528 (映画祭帯広事務所/野田)

会場直通(会期中のみ) ☎ 0156-64-3161 (新内ホール)

<http://kuusunomori.com/>

★ボランティアスタッフ募集! ★出店者も募集しています。  
★プログラムはWEBからもご覧になれます。

Graphic by Nekomataya

9月18日(金) 前夜祭 19:00~21:00

★参加費・1,000円(立食パーティー)

音楽 ●宇井ひろし(シンガーソングライター) ミニライブ

銀幕の20年に感謝のライブ(歌・ギター・アコーディオン)。小さな廃校の上には毎年空想という星がまたたきました。それを本物の星に!そんな想いで歌います。最後のシマフクロウ、他



オープニングセレモニー&パーティー ●新得町長・歓迎の挨拶

1日目●19日(土) ★2会場での開催!

\*19日は新内ホールと新得町公民館大ホールの2会場での開催です。

新内ホール

●10:00~15:00

ドキュメンタリー

「風のたより」+ 田代陽子監督トーク

監督:田代陽子/2015年/210分(予定)

本州最北端の町に建設中の大間原発の問題を軸に、道南の山田農場、洞爺湖のパン屋・ラムヤート、大間の漁師・山本さんの日々が折り重なった2011年4月からの2年間の記録。



▲田代陽子監督



●19:00~21:00

ライブ

声体文藝館 ●「飢餓海峡」

出演:趙博 ピアノ:春間げん

北海道と舞鶴で起きた殺人事件は、「貧困」と「欲望」という赤黒い糸で結ばれていた。水上勉・原作の推理小説を内田吐夢・監督(1965年)で映画化。水上文学の神髄を「浪花の歌う巨人・バギヤン」趙博が、「語り・身ぶり・唄」の一人芝居で演じる。



新得町公民館大ホール

公民館大ホール●13:00~15:00★新得町民劇場

劇映画

「馬喰一代」+ トーク「新得ロケの思い出」

●ロケに参加した町民、小坂亨・熊切隆・赤木英俊らのトーク

監督:瀬川昌治/1963年/104分/主演:三國連太郎・新珠三千代

飲んだくれでも人には負けぬ根性男、北海道北見の馬喰・米太郎が、ひとり息子の大平を北海の大平原にも負けない大きな男に育て上げる苦難の歳月を感動豊かに描く名作。新得畜産試験場でロケ。町民、延べ2千人、馬500頭が参加した。



公民館大ホール●15:30~17:30★新得町民劇場

劇映画

「ゴジラ」+ トーク「伊福部昭と新得」●杉本寛、佐野周二ら新得町民

監督:本多猪四郎/1954年/97分/音楽:伊福部昭 1954年に公開された特撮怪獣映画の金字塔。ビキニ水爆実験の衝撃を背景にゴジラは生まれた。作曲家伊福部昭の劇中音楽の評価も高く、「ゴジラ」と言えば、そのメインテーマが聞こえてくる。十勝・音更で育った伊福部昭は、新得にも縁が深く、新得高校の校歌も作曲している。



TM&(C)TOHO CO.,LTD.

2日目●20日(日) \*会場は新内ホールのみです。

●10:00~12:00

個人映画&実験映画・11作品

小池照男監督選「ヴォワイアン シネマテーク」

『福間さんへ。』 (櫻井篤史) Bear Mr.Fukuma Atsushi Sakurai	『時の体温』 (山元りこ) Temperature of Time Ruriko Yamamoto
『Bristlecorpine』 (西岡雪菜) Bristlecorpine Yukina Nishioka	『fan』 (吉本陽一) fan Yuuichi Yoshimoto
『W』 (向平 真) W Makoto Mukahira	『洗洗』 (平田直志) KanKou - Dazzle of Surface Masashi Hirata
『黄泉の真珠』 (西村美須寿) Pearl in Hades Misuzu Nishimura	『FloorLight』 (大谷 淳) FloorLight Jun Ohtani
『花が咲いたら』 (柳瀬 昇) When the flower blooms Noboru Yanase	『生態系-5- 微動石』 (小池照男) Ecosystem 5 - A Tremulous Stone Teruo Koike
『東京蜜月』 (青井克己) Tokyo Honeymoon Katsumi Aoi	

ヴォワイアン シネマテークは、1983年~1996年関西で湧き起こった個人映画・実験映画の制作とその上映主体として、激しく時代精神を揺さぶりながら数々の作家を輩出した運動体。今回、ヴォワイアン主要メンバー11名:11作品を小池監督の解説付きで上映。創成期から参加してきた小池監督は、この坩堝の中で作品を産み出しその上映姿勢を確立した。

●13:00~15:00

劇映画

「わたしたちの夏」+ 福間健二監督トーク

監督:福間健二/2011年/89分

日本の夏。メディアが戦争を特集する。のどが渇く。死者の帰ってくるお盆がある。暑さのなかで死者を思うことは生きている者に何をもたらすのか。アラフォーの千景と二十歳のサキを中心に、女性たちの現在をとらえる。



●15:30~18:00

講演

「映画・戦争・ゾンビ」~ゾンビの眼差しから捉える現代社会~

講師:上村崇(福山平成大学教授)

私たちはゾンビである!! 非常事態が常態化した現代社会をゾンビの眼差しから観てみると……。映画におけるゾンビ表象を中心に読み物から音楽までゾンビを熱くもゆる〜語り合いましょ。



▲毒ガス工場があった大久野島

▲大久野島でモルモットとして使われていたうさぎに食べられているゾンビなわたし・上村

2015年9月19日(土)・20日(日)・21日(月)・22日(火)の4日間

■新得町新内(にいない)ホール ●北海道上川郡新得町新内

●19:00~21:30

ドキュメンタリー

「選挙フェス」+ 杉岡太樹監督トーク

監督:杉岡太樹/2015年/114分

2013年7月に行われた参議院選挙に突如姿を現したヒゲ面の候補者、ミュージシャンの三宅洋平。Tシャツ・短パン・島ぞうり...地盤もなければ金もない、公示当初は「泡沬候補」と揶揄されたこの男が、音楽と演説を融合させた「街頭ライブ型選挙」を「選挙フェス」と名付けて17日間26カ所を巡った。



3日目●21日(月) \*会場は新内ホールのみです。

●9:30~11:40

劇映画

「ナンバーテンブルース」+ 長田紀生監督トーク

監督:長田紀生/2012年/100分

1975年4月、ベトナム戦争終結。ひとつの国が崩壊するその時、男は破壊への道突っ走っていた。戦場から逃げる人々の流れに逆らって。日本人よ、お前は一体何処へ行こうとしているのか!?



オール現地ロケのこの作品は、「犬神家の一族」「修羅雪姫」等の脚本家長田紀生が自らの脚本でメガホンを取った。

●12:30~13:45

落語

第一席 ●「時事落語」~何が飛び出すかは当日のお楽しみ~

第二席 ●「唐茄子屋」 勘当された若旦那が叔父さんに命を助けられる。心を入れ替えて「唐茄子=かぼちゃ」を売りに行くが... 笑って泣けます!

噺家 ●橋家扇三

中学生の時に八代目林家正蔵(彦六)に出会い落語の世界に。その後、先代橋家扇三のもとで本格的に修業。橋家扇三の名前を継ぐ。

滑稽噺、人情噺、芝居噺などの古典落語から、新作落語まで幅広い芸風で定評がある。とくに風刺落語・時事落語は評判が高い。各地の地域寄席でも演じ好評を得ている。



橋家扇三

●14:00~16:00

ドキュメンタリー

「Beauty of Tradition -ミャンマー民族音楽への旅-」 十川端潤監督トーク

監督:川端潤/2015年/105分

大きく変化していこうとするミャンマー。その中で、なるべく手つかずのピュアな民族音楽を録音しようと思いついた。その録音風景を中心にカメラに収めた作品。撮影は水掛祭りの頃。食事、バゴダ(仏塔)、街の情景、を映しこむ旅の記録的、ロードムービー。



川端潤監督

●16:30~19:00

ドキュメンタリー

「1989 swany 一遠征闘争の記録」

+ オ・トゥヒ監督トーク+ 齋 漢子(ユ・ヨンジャ)講話

監督:オ・トゥヒ/2014年/69分

アジアswanyはスキー手袋を作る会社だった。労働者たちの多くは、10代半ばの少女、20代初期の若い女性たち。学業と家計の為に動かざるを得なかった労働者たちは、組合を作り労働条件を改善していった。その最中に会社は突然廃業、労働者たちは職場を失った。彼等は工場を占拠し正常稼働を要求し闘いを始め、4名の女性労働者たちが本社がある日本に渡った。そこで彼女たちは、在日同胞や日本の労働者たちと連帯し100日余を闘い抜いた。



オ・トゥヒ監督

講話 齋 漢子(ユ・ヨンジャ) 大谷派僧侶 映画は時代を証言する。娯楽であろうがシリアスなものである。その時代を反映する、と私は思う。遠い日、公園の夕べ、映写機が回り始め銀幕の中の人間が動き出す。風が吹く幕が揺れる。60年前のセピア色の記憶。不思議な世界に誘ってくれた。私にとって映画は生き方を示唆してくれる媒体だ。特にドキュメンタリー映画は私に内省を促す。



▲ユ・ヨンジャ

●20:00~22:00

ライブ

おおたか静流とアジアン・ウィングス

NHK-Eテレ「にほんごであそぼ」出演、リレハンメルオリンピックのエンディングでの歌唱など、日本のみならず世界にその実力を認められているおおたか静流(しずる)がヴォーカルとして参加するAsian Wings。その演奏は懐かしいようで新しいけど親しみやすく、アジアの芳醇な大地や空をも連想させます。今回は映画祭なので、映画の主題歌等も入れつつ、平和と自然を愛するAsian Wingsのボーダーレス&バリアフリーな音楽曼荼羅をお届けしたいと思います!



おおたか静流(うた)/佐伯雅啓(ウード、サンシン)/嵯峨治彦(馬頭琴、喉うた)/児嶋佐織(テルミン)/田中峰彦(シタール)/田中りこ(タブラ)/居森やよ美(カオスパッド、ボイス)

4日目●22日(火) \*会場は新内ホールのみです。

●10:00~12:00

ライブ

劇団 石(碁/トル)ひとり芝居

「在日バイタルチェック」

舞台は在日朝鮮人1世が通うデパートサービスセンター。壮絶な歴史をたくましく生き抜いてきた1世達の思いと「今」に悩む2・3世の思いが笑いと涙の中で交差する。「在日朝鮮人」とよばれる人達がなぜ日本にいて、そこにはどんな暮らしがあるのか。



作・演出・出演/きむ きがん